

## 「ワールドマスターズゲームズ 2021 関西」の開催に向けて

**1 関西経済界への協力依頼**(1) 第2期スポンサーの募集

現在、第2期協賛スポンサーを募集しており、本大会を通じての企業PRの展開など、大会の成功に向けての協賛社としてのご参画をお願いしたい。

また、各開催地実行委員会におけるローカルスポンサーとしてのご支援も含めて、ご検討をお願いしたい。

(2) 大会事前PRへの協力

組織委員会が大会案内情報を発信する際、企業の海外事務所、取引先等での海外情報発信にご協力をいただくとともに、国内においては、社内のニュースレターや大会ポスターの掲示など、大会のPRにご協力をお願いしたい。

(3) 参加支援への環境整備

「関西スポーツの日、月間」における関西経済団体、各企業の取り組みの機会を通じて、本大会のPRを行っていただくとともに、スポーツ有給休暇制度の導入や、コーポレートゲームズなどへの参加を皮切りに、本大会への個人、チーム結成による参加の支援をお願いしたい。

(4) 競技開催地への支援

競技開催地にゆかりのある企業や、スポーツ部を有する企業におかれては、開催地実行委員会への開催機運の盛り上げ、競技運営面でのバックアップや、社員の大会参加への働きかけなどについて、厚いご支援をお願いしたい。

(5) 人的協力

本格的な開催準備段階に入り、万全な事務局組織体制を整える必要があることから、既に開催府地府県政令市へは増員派遣を要請している。

については、官民共同による価値ある大会づくりに向け、関西経済界からの更なる人材の派遣をお願いしたい。

## 2 平成31年度の主要スケジュール

- (1) IMG A理事会への参加（5月上旬）  
スポーツアコード（スポーツ総合国際会議）の期間中に開催されるIMG A理事会の場において、競技実施要項の概要などを説明し承認を得る。  
（会場：オーストラリア・ゴールドコースト市）
- (2) 大会2年前イベントの実施（5月 関西スポーツの日、月間）
- (3) ヨーロッパマスターズゲームズ2019 トリノ大会での海外誘客（7月下旬）
- (4) 参加者受付開始（2月）に向けた募集要項の発表（11月頃）
- (5) ボランティアの募集開始（11月頃）
- (6) 交通インフォメーションガイド、観光・文化紹介サイトの開設（11月頃）
- (7) 宿泊案内サイトの開設（2月）

## 3 今後の組織委員会における重要取組事項

- (1) 大会認知度・価値の向上
  - ・ 大会の認知度（全国の認知度8.9%「H30.7月調査」）アップに向け、戦略的な広報活動を展開
  - ・ ラグビーW杯、東京2020大会と肩を並べるに相応しい価値ある大会となるよう、政府が大会の開催に協力する旨の「閣議了解」の獲得
- (2) 大会機運の盛り上げ
  - ・ 節目（大会2年前）イベント、全国キャラバンの実施
  - ・ 万博との連携による海外への「関西」のアピール
- (3) 参加者募集情報の早期発信
  - ・ 参加者5万人（国内3万人、国外2万人：150ヶ国・地域以上）の獲得に向けた競技募集要項をはじめとした各大会インフォメーションの早期発信

## 4 平成30年度の主な活動実績

### (1) 大会1000日前記念イベントの開催

#### ① 「みんなのスポーツ1000言」デジタル残日計の設置・除幕式

- 開催日：平成30年8月18日（土）
- 会場：関西国際空港第1ターミナル  
国際線到着ロビー



#### ② 大会1000日前決起大会

- 開催日：平成30年8月24日（金）
- 会場：ヒルトン大阪
- 内容

井戸敏三会長、松本正義会長、大会応援大使の武井壮さんなど約500名が出席し、次のとおりの発表等を行った。

- ・ 福井県が新たに「ライフセービング」の競技に参画(35競技59種目)
- ・ 延べ6万人のボランティアの募集計画の発表
- ・ アスリート23名がアンバサダーに就任(野村忠宏(柔道家)さんほか)
- ・ 在阪テレビ局のアナウンサー5人が「大会“アナ”バサダー」に就任
- ・ ボランティア協力等に向けた活動支援団体との連携協定の締結 など

### (2) アジアパシフィックマスターズゲームズ2018でのPR

- 開催期間：9月7日（金）～9月15日（土）
- 開催地：マレーシア・ペナン島
- PR内容

アジアで初めて「アジアパシフィックマスターズゲームズ（APMG）2018ペナン大会」が開催された。ペナン大会には、世界60か国から約5,300名（うち国外からの参加者は約2,000名、日本からの参加者233名）が陸上、バドミントン、自転車、サッカー、水泳など22の競技に参加した。

組織委員会は大会受付会場や開会式場にブースを設置し、参加者に対して関西大会のPRを行った。

また、日本人参加者が競技会場でPR用Tシャツを着用し、チラシやピンバッジなどのノベルティを配布した。



### (3) 首都圏シンポジウムの開催

- 名 称：ワールドマスターズゲームズ 2021 関西 シンポジウム
- 開催日：平成30年11月27日（火）
- 会 場：東京国際フォーラム
- 内 容

大会の魅力や意義を、首都圏から情報発信することを目的に、日本経済新聞社の共催のもと実施し、企業関係者など約230名が参加された。

スポーツ庁の鈴木長官からは、生涯スポーツ社会の実現についてご講演いただき、また、国際マスターズゲームズ協会のイェンス・ホルム事務局長からは、今後、オリンピック・パラリンピックの翌年にワールドマスターズゲームズが同一国で開催されるよう検討されていることなどが紹介された。

続いて、「みる」「ささえる」スポーツと「する」スポーツをテーマに、パネルディスカッションが行われた。パネリスト（東京オリ・パラ組織委員会の伊藤学司企画財務局長さん、元衆議院議員の杉村太蔵さん、武井壮さん、アンバサダーの朝原宣治さん）が、オリンピック・パラリンピックで高まったスポーツ熱を、普段に運動していない一般の方々が「スポーツをする」方向に向けるのに、本大会がとても良い契機になることなどを語っていただいた。

最後に、本大会委員・参与でコーディネーター役の上智大学の師岡文男教授により、スポーツツーリズムによる地域の活性化などの効果も期待できるといったまとめがなされた。



### (4) IMG A（国際マスターズゲームズ協会）理事会の開催

- 開催日：平成30年12月3日（月）
- 場 所：リーガロイヤルホテル（大阪）
- 内 容

組織委員会の井戸会長から、「しっかりと準備を進め、大会成功のエネルギーを2025年の大阪・関西万博に繋げる。」との挨拶を行った後、木下事務総長から、大会の進捗状況について説明を行った。

説明後、カイ・ホルム会長から、「日本はきっちり計画することを承知しており、2021年の大会成功は間違いないと思う。」  
「世界中に知名度が広がることを期待している。」といった感想が述べられた。

